令和２年１月５日発行　毎月１回５日発行　オイスカ通巻 652 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ FURUSATO！１月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

新年の挨拶

四国支部会長　泉　雅文

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりありがとうございました。本年もご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は平成から令和へと時代が変わる、御代替りの年でありました。

オイスカ四国支部も、４月にはオイスカ愛媛県支部と合流し、四国が一体となってオイスカ理念の発信と地域に密着した活動の展開に取り組んで参ろうという決意を新たにいたしました。また、同じく４月に開催された幹事会において、前会長の石井顧問からバトンを引き継ぎ、私が会長に就任いたしました。微力ではございますが、新しい時代においても、オイスカ四国研修センターへの支援、そしてオイスカ四国支部の会員増強に取り組んで参りたく存じます。

2015 年に国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」は国際社会全体の目標ですが、オイスカはその先駆け的な取り組みを 50 年以上前から行っております。引き続き諸課題の解決に向けて鋭意貢献することで、その存在意義も高まるものと感じております。

会員の皆様をはじめ、関係の方々には引き続き変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

本年も新たに研修生を受け入れます。研修生は、帰国後は母国の地域開発のリーダーとして活躍し、さらには日本の良き理解者として日本との架け橋になってくれています。研修生の受け入れは、会員の皆様の会費によって成り立っており、本年も一層の会員拡大が重要です。会員 1100 名達成を目指し、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

四国研修センター所長　小野　隆

新年明けましておめでとうございます。

元号が、令和となって初めてのお正月ですが、みなさんお元気で楽しい年始をお過ごしのことと存じます。

昨年も、四国研修センター（以下、センター）の人材育成事業に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。お陰様で昨年の研修生５名（イカ・オリバ・カティ・ナバ・アモス）は、12 月 14 日（土）に修了式を終え、全員、無事母国に帰国いたしました。

今年も２月下旬に、地域開発コース（ふるさと作りに必要とされる、幅広い視野をもったリーダーシップのある人材を育成するため、以前の農業・生活改善・家政のコースを合わせた国内では四国だけが、唯一実施している研修コース）・家政コースの計６ヶ国（フィリピン、ミャンマー、タイ、モンゴル、フィジー、メキシコ）６名の研修生が、センターに入所する予定ですので、引き続きご支援の程、よろしくお願いいたします。

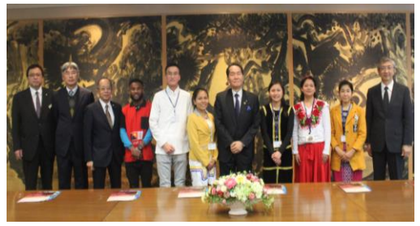
また、農業及び工業の技能実習生の受入れや外部管理団体からの委託による介護の技能実習生の基礎研修の実施、四国内の小学生・中学生・高校生等これからの日本の未来を築いていく青少年との交流も積極的に行なう予定です。

令和２年も職員一同、一致団結して四国という地域に根ざした有意義な研修を進めていく所存でございますので、昨年以上にご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

表敬訪問

12 月 11 日（水）、研修生の帰国を前に綾川町役場と香川県庁を訪問し、研修の報告とお礼の挨拶をさせていただきました。四国センターの地元である綾川町役場では前田町長にお会いし、２月の入国後すぐに参加した町の綱引き大会や地元の小学校との交流などの話に花が咲きました。県庁では浜田県知事、西原副知事らを前に、研修生が一人ずつ研修の感想と今後の抱負を述べました。研修生は非常に緊張したようですが、うどんが大好きなことや、おじいさん、おばあさんが元気などの香川県での思い出もお話しした時は皆が笑顔になりました。

10 か月の短い期間ですが、研修生にとってこの地は特別な場所になっています。毎年研修生を温かく迎え支えてくださる多くの方には感謝が尽きません。本当にありがとうございます。これから来る新しい研修生もどうぞよろしくお願いいたします。（永山）



オイスカ中讃推進協議会・国際ソロプチミスト丸亀 国際交流クリスマス会

12 月 10 日（火）、オークラホテルで行われた、オイスカ中讃推進協議会と国際ソロプチミスト丸亀との共催の「国際交流クリスマス会」に参加しました。日本のクリスマスパーティーは初めてなので、とても楽しみでした。きれいな料理がたくさん出て、どれもおいしそうでした。フルコースを食べるのは難しかったけど、会員の皆さんとお話しながら食べるのは楽しかったです。

研修生のアトラクションでは、クリスマスソングを歌いました。その後に、フラダンスを教えてもらいました。フラダンスの衣装を着て踊りました。とても楽しかったです。面白い体験ができました。ありがとうございました。（マテ）

センター忘年会～今年もお疲れ様でした～

12 月 19 日（木）、オイスカ四国研修センターで忘年会を行いました。今年のオイスカ活動を振り返り、来年の更なる飛躍を祈願しての忘年会でした。

16、17 日に地域開発研修生５名が帰国し、センター内もすっかり寂しくなりました。今回の忘年会の参加者は、職員や研修生を合わせ、計 11 人と非常にこじんまりとしたものでした。

料理は、新鮮な魚や肉をふんだんに盛り込んだ体の温まる鍋を２種類用意しました。夕食の後、ビンゴゲームとカラオケをおこない、みんなで盛り上がることができました。新年に向けて一致団結できた忘年会でした。

最後になりますが、今年も皆様の手厚いご指導・ご支援のおかげで、オイスカ四国研修センターも飛躍の年となりました。心より御礼申し上げます。来年も引き続きよろしくお願いいたします。（小原）

１月の予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
１月３日	金	研修生ホームステイから帰所	オイスカ会員	研修センター
１月６日	月	仕事始め	研修センター	研修センター
１月７日	火	全体会議 神社参拝	研修センター 研修センター	研修センター 田村神社・冠纓神社
１月９日	木	オイスカエスニック料理講習会	徳島県推進協議会女性部	ヨンデンプラザ徳島 クッキングスタジオ
１月 23 日	木	技能実習生配属	沖縄事務所	沖縄県

「FURUSATO！」１月号　発行
公益財団法人オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

OISCA × VALUE BOOKS
古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト

研修修了　おめでとう！　これからが本番だ！

12月14日（土）、当センターで研修生の修了式を執り行いました。今回初めて、東京本部より中野理事長が修了式に出席し、研修生へ修了証を渡して頂きました。

式では、磯崎参議院議員様を始め、淀谷香川県知事公室長様、谷岡綾川町副町長様よりご祝辞を頂くなど、多くの方々より研修生の門出をお祝いして頂きました。

送辞では、マテが帰国前に共に研修した仲間たちに思い出を交えながら激励し、答辞ではイカが感謝の言葉と自分達がこれから頑張る希望を語りました。1年間の成果発表では、アモスが日本語に始まり苦労したこと、充実した研修、色々な方達との出会いをどれも大切な経験として非常に勉強になったとスピーチしました。

懇親会では雰囲気も変わり、手作りの料理に舌鼓を打ちながら、お世話になった方々との最後の歓談を楽しんでいました。10か月という短い時間で研修生が多くの方と関わり、多くの事を吸収したのだなと改めて実感しました。アトラクションでは、子供達の定番である「パプリカ」を歌いながら踊り、今年の鉄板！メキシコの「チュチュア」で会場全員が参加するほど盛り上がり、最後は三好東曜さんのアフリカンドラム＆ダンスで今年1年踊り切りました。

研修生は、16・17日に帰国の途に着き、各国で成果を見せてくれるものと思います。また、残った我々も来年のオイスカを盛り上げて行きたいと思います。皆様、どうもありがとうございました。（矢野）

子供たちと一緒に「パプリカ」を披露しました。

理事長から直々に修了書をいただいたナバ。

私たちのアクションプラン
~修了した5名の帰国後の活動計画をご紹介します~

アモス（パプアニューギニア）

自国のオイスカセンターで、農業の指導員になります。ふるさとでは、土作りや野菜の管理方法を改善しながら、特に若い人に農業の大切さとおもしろさを伝え、農業をする人を増やしたいです。

イカ（マレーシア）

ふるさとで有機農業のモデル菜園を作り、日本で勉強したボカシや自然農薬の作りかたなどを教えます。安全で持続可能な農業を普及する活動をします。

ナバ（モンゴル）

日本とモンゴルの料理を組み合わせたレストランを開くことが目標です。オイスカOBの有機野菜を使い、自分が日本で勉強した食べ物の栄養バランスや接客方法、などを参考に、皆が元気になるお店をつくります。

オリバ（メキシコ）

オイスカメキシコでボランティアをしながら、訪日前から続けてきたバイオテクノロジー研究を再開します。日本で研修した有機農業、栄養管理の経験を活かして、メキシコ人の健康増進のために活動したいです。

カティ（メキシコ）

焼畑等で減少してしまったふるさとの森林を再生する活動をはじめます。果樹も植えて、将来的には共同出荷や、加工販売をしたいです。そのために、ふるさとで活動グループを作ります。

12月も、イベント盛りだくさんでした！

綾川町立陶小学校　～おにぎり交流～

12月4日（水）に、綾川町立陶小学校（以下、陶小学校）の5年生と交流を行いました。陶小学校とは、1年を通して、異文化・稲作交流等、計4回を行い、今回は10月に、みんなで収穫をしたお米で「おにぎり交流」を行いました。子どもたちが丹精込めて作ったおにぎりをみんなで食べました。「梅干しやツナマヨなど、種類も豊富でおいしかった！」と研修生も話してくれました。

その後は、校庭に出て「鬼ごっこ」をしたり、研修生の国のゲームをしたりしました。初めてする鬼ごっこを楽しんでいた研修生。最初の交流と比べると、研修生も日本語が上手になったので、会話が弾んでいたり、お互いの名前を覚えたりして仲良くなっていました。最後は、子供たちが研修生に寄せ書きをプレゼントしてくれました。

この1年で、研修生と子供たちにとってたくさんの経験ができました。

みんなで作ったお米はおいしかったです。

1年間本当にありがとうございました。

香川県立高松北高等学校　～フィールド学習～

12月6日（金）に、香川県立高松北高等学校（以下、高松北高）で、マテが交流を行いました。高校1年生70名にオイスカの活動内容と、ミャンマーについて発表をしました。発表中は、メモを取る人や、ミャンマーの文化や習慣についての発表に興味津々の学生達でした。

高松北高の学生とは、ふるさと祭り（10月開催）にボランティアとして参加してくれたことがきっかけで、今回のような交流の機会をいただくことができました。これからも交流の機会が増えていくようにしたいです。

昨年も多くの学校と交流を行ってきました。研修生と実際に触れあって、国際交流や国際協力に興味を持ってくれたら幸いです。（金澤）

ミャンマーについてわかりやすく説明をするマテ。

OYL活動　～竹林整備～

日本には、管理されず無造作に木々が生えている山がとても多いです。これは日本の環境問題の一つです。そこでオイスカは、環境保全活動を国内各地で行っております。オイスカ四国研修センターでも、11月29日（金）にオイスカ青年部グループ「オイスカヤングリーダーズ（以下、OYL）」の活動で、センター周辺の竹林整備を行いました。竹林の中に入ると、大きくなった竹もあれば、古く枯れた竹もあちこちにありました。たくさんあるので、中に太陽の光が入ってこず、とても寒く、暗い場所でした。元気がない山みたいでした。そこでみんなで、枯れた竹を出したり、少し竹を切ったりしました。開始前より竹同士の間にスペースができ、少しすっきりしました。切った竹は、竹紛機で細かくし、これらは有機肥料として使うことができます。

竹を管理すると、そこからタケノコが出てきます。今年OYLで「タケノコフェス」の開催を予定していますので、ぜひ参加してください！お待ちしております。（デニス）

かたい竹を切るのも一苦労です。

協力してきれいになりました。
おいしいタケノコが出てきますように！